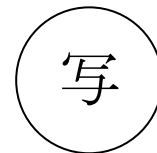


平成30年（2018年）11月27日開会

平成30年（2018年）第14回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 平成30年11月27日（火）第14回教育委員会定例会を南館6階会議室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	京 兼 幸 子
委 員	片 山 正 敏
委 員	篠 永 安 秀
委 員	武 内 由 紀 子

◆ 本委員会に出席した者

教育総務部長	乾 克 文
教育政策課長	玉 谷 圭 太
学務課長	小 塩 憲 司
施設課長	中 井 教 純
社会教育振興課長	松 本 栄 子
歴史文化財課長	乾 友 範
中央図書館長	川 上 成 人
学校教育部長	小 川 浩 一
学校教育推進課長	加 藤 拓
教職員課長	谷 周 平
教育センター所長	足 立 英 幸
こども育成部長	岡 和 人
保育幼稚園総務課長	山 寄 剛 一

◆ 署名委員

委 員	片 山 正 敏
-----	---------

(平成30年11月27日(火)、午後3時00分)

議事日程 (平成30年第14回茨木市教育委員会定例会)

(於:市役所南館6階会議室)

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

(1 5 時 0 0 分 開 会)

岡田教育長

それでは、ただいまから平成30年第14回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、委員会を傍聴したいという申し出がありますので、ここで入室していただきます。それでは、傍聴者を入室させてください。

(傍聴者入室)

岡田教育長

本日の出席者は5名でありまして、会議は成立いたしております。

なお、本委員会には部長以下、説明員の出席を求めています。

これより本日の会議を開きます。

日程第1 「会議時間の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本日の会議時間は午後5時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本委員会の会議時間は午後5時までと決定いたします。

日程第2 「会議録署名委員指名について」。

本件は、茨木市教育委員会会議規則第17条の規定により、片山委員をご指名申し上げますので、よろしく願いいたします。

日程第3 「会議録の承認について」を議題といたします。

「平成30年第12回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」及び「平成30年第13回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」についてお諮りいたします。

異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「平成30年第12回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」及び「平成30年第13回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」については承認することといたします。

日程第4 「諸般の報告」を行います。

乾教育総務部長が報告

岡田教育長

以上の報告について、ご質問はございませんか。

武内委員

第5回茨木市相馬芳枝科学賞についてなんですけれども、年々盛り上がって、いい研究が出てきていると思います。前に聞いたかもしれないんですけど、このいろんな作品から賞を選定される委員の先生というのはどういう方なのでしょうか。

足立教育センター所長

審査に当たる者につきましては、各校の教員がまず優秀作品を選出いたします。また、選んだその優秀作品等の中から、相馬先生にお越しいただきまして、最優秀賞を選んでいただきます。同時に審査員が選びました最優秀、優秀等の作品につきましても、それに相違はないかというところも含めた点検もさせていただいております。

武内委員

各学校の先生方ということですか。何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。

足立教育センター所長

各学年からたくさんの応募が各校には寄せられますので、その中から、各学校で第一次審査として各学年1作品をまず選んでいただいて、それがセンターにやってまいり

ます。教育センターには理科の担当の教員が数名おりますので、その教員とセンターの指導主事が第二次審査を行って、優秀作品を選定します。その上で、相馬先生に見ていただくという流れになります。

武内委員

なかなか数が多いから、選ぶというか、見るだけでもすごく大変かなと思うんですけども、やはりこうやって、自分がやったことが認められるというのかな、そういうことは子どもたちにとって次への力になると思いますので、ぜひ丁寧に見てあげてもらって、深まっていくようにしていただけたらと思います。

片山委員

同じく、第5回相馬芳枝科学賞なんですが、今回相馬賞を受賞された西村さん、この方が、今回研究に取り組んだ経緯とか、ご自分の夢を表彰式でスピーチされたということなんですが、具体的にはどのようなことをおっしゃっていたんですか。

足立教育センター所長

西村さんなんですけれども、今回の作品の提出までも標本等についてすごく興味をお持ちになっていまして、学校でも、ずっとそういう勉強もされてきたというふうに聞いております。実際にタヌキの死骸等を見つけられて、ご家族の方と一緒に半年ぐらいの期間をかけて標本にしてつくったということを知っています。本当に熱心に活動されている方で、当日も、受賞後の午後は作品のそばに立って、見学に来られた方々に説明もしていただくなど、本当に1日協力していただきました。

片山委員

ご自分の夢というんですか、どういうことを語っておられたんですか。

足立教育センター所長

将来的には、このような研究のほうに進みたいということもおっしゃっていました。

片山委員

先ほど、各学校で作品を集められて、審査をされて、それからこちらの教育センターに送られてという流れであると聞いたんですが、実際に、子どもたちが自分の身近な問題で研究テーマを見つけられて、何か研究しようかというときに、子どもたちは保護者の方にご相談される方が一番多いかと思いますが、どのように研究したらいいのか、いろいろなアドバイスとか、研究に向けての注意とか、そういうようなことを子どもたちは多分知りたいと思ってるんだと思います。こういう研究をする場合には、やはり、やり方といいますか、いろはについてもある程度興味があろうと思いますが、学校で何かアドバイスとか、そういうことをする機会はあるのでしょうか。子どもたちにとっては、単独で研究されるのは、多分最初は大変難しいかと思いますが、どういうふうにそういう芽を育てるような仕掛けをされているのか、お聞きしたいと思います。

足立教育センター所長

この行事は、特にこちらから必ずこういう指導を下さいということは指導はしていませんが、教育センターが行う研修の中で、自由研究についてはこのように進めていく等の方法について教授するような機会というのは毎年設けております。相馬賞の前にも必ずしております。それから当日、参加されている観覧に来られた保護者、それからご本人さんを見ていましたら、来年こんな研究ができたらいよいよねと言いながら回っておられる方が本当にたくさんいらっしゃいました。おもしろいよね、こんなのが自分でも考えられたらいよいよねというようなことをおっしゃっているの、恐らく、見に来られた方は、そのような形でご自身が見られたものの中で興味のあるような研究について、さらに考えられるじゃないかというふうには思います。

岡田教育長

私もこの方の作品を見させてもらいました。相馬先生もおっしゃっていましたが、研究者レベルという感じです。ハイキングに行ったときに死んでいたタヌキを6か月間土に埋めて、それを化学薬品を使わないで骨だけにするということがされていました。

片山委員

それはご自分で発見されて。

岡田教育長

お父さんにお聞きすると、きっかけは福井県の恐竜の発掘に連れていったことだそうです。そのときに化石を見つけたみたいで、そこからのめりこんで、学芸員にどんなやり方をすればこんなふうになるのかとか、いろいろなことを聞いて、あとは自分でやっていったというふうにお聞きしました。表彰式の際に私も全体にお話ししたのは、やはり、いろんな体験を通じて子どもたちが興味を持つものを探っていくとか、それが本当に大切かなというふうに思いますので、今回はご家庭でそういうことありましたけど、学校現場でも、そういういろいろな体験ができるような施策が必要かなとは思いました。

博物館に勤めたいとか、そういうふうな言い方を彼女はしていましたね。

京兼委員

同じく相馬芳枝科学賞について、私もこの最優秀の研究テーマを見て、どんな骨格標本なんだろうというふうに思いました。確か相馬芳枝科学賞は、当初の予算は10万円でしたかね、今もそうなんでしょうか。これだけ盛大になってきて、また、今後ますます発展していくには、それなりの予算措置なんかも必要だろうと思うんですが、そのあたりはいかがでしょうか。

足立教育センター所長

今、手元に金額がわかるものを持っていなくて、申しわけないんですけども、そんなに多くのお金は予算的には計上はしておりません。ただ、場所等を押さえるということになりましたら、現状、3階の労働センターの会議室をお借りしていたり、それから多目的ホール、表彰式を行う場所というふうに、クリエイトセンター内の施設について、もしもう少し人数が増えていって、実験ブース等も含めておさめるということが難しくなると、施設の使用料等については増額を検討する必要があるのかなというふうには考えております。また、それに伴う消耗品等についても、若干消耗品費に載せていますので、そのあたりの増額も必要になるかと考えております。

京兼委員

せっかく相馬芳枝先生っていうすばらしい科学者がおられますし、その名前を冠した賞が実施されて、ある程度年月が経つと思うんですけども、これは教育を一つの大きな柱としている茨木市にとっては、大きな財産だと思うんです。今、よくふるさと納税が問題になってますよね。なんだったら、そのふるさと納税の一つの寄附の対象として、相馬芳枝科学賞について、1つの分野、ジャンルというか、そういう形でもっと、今後とも茨木市として誇れるような形にもっていったらいいかなという、これはあくまでも提案ですけども、よろしく願いいたします。

武内委員

総合展の件について、これもすごくすばらしいなと思っているんですけども、お習字とか図工の作品とか家庭科の作品とか、各学校から集まったいろいろな作品を南館のほうで展示されているのを見せてもらって、各学校で先生方が、子どもたちにそれこそいろんな手法を伝えていって、いい作品に仕上がるようにとすごく力を入れておられるなというのを、今回特に感じました。幼稚園、認定こども園も各先生方が子どもたちの持っているものを何とか引き出そうというので、一生懸命関わっておられるなということとか、それからまた新しい、今までと違った手法でこんなものをつくってみたらどうだろうかというふうなことを、先生方がいろんなところから学んで来られて、それを子どもたちに伝えて、いい作品をつくらせてあげようという、そういうものがすごく感じられました。で、子どもたちも、そういうのをはじめはめんどくさいとか、いろいろ思っていたかもわからないですけども、やっぱり完成したものを見ると、成功感・達成感というふうなものを感じて、すごくいい教育になっているというふうなことを、この総合展を見せてもらって感じました。先生方も大変だとは思いますが、一生懸命力を入れてやっておられて、国語、算数とかそういう教科のお勉強以外の芸術的なこととか、そういうふうなことについても、子どもたちの力を伸ばしていこうという意欲がすごく見えて、よかったなというふうに思います。これは、ずっと前から、もう50回以上続いているのかな、それぐらい続いているものですから、教育委員会も場所の設定とか予算取りとか大変だとは思いますが、各学校での校内作品展とかそういうふうなこともやってる学校もあるので、子どもたちにいろんな力をつけてやって、いろんないい面を伸ばしてあげるという意味で大事に

していただきたい行事かなというふうに思っています。ちょっと感想ですけれども、そんなふうに考えました。

京兼委員

10月12日の「おやこで絵本とあそぼう！」という行事、これは対象が0～3歳の乳幼児ということで、3歳児ぐらいだったら、絵本を読んでもある程度おとなしくしてると思うんですけど、0～1歳、特に1歳前後の子どもは、なかなか絵本を読み聞かせてもじっとしてないと思うんですが、そのあたりはいかがだったんでしょうか。

川上中央図書館長

おっしゃっておられますように、0歳児の方が言葉がわかるかというのは非常に難しいところがあるかと思うんですけども、やはりお生まれになって、すぐに親子でのコミュニケーションといいますか、保護者の方が語りかけることによって、そういう教育といいますか、感受性が豊かになっていく、そういう観点から、絵本を保護者の方が読んで聞かせるということが言葉がわかる前から重要であるというふうに思っております。その中で、「おやこで絵本とあそぼう！」は、0歳児からということで募集をさせていただきました。また、ご兄弟のお子さんも一緒に来られて、手遊び等で楽しくお過ごしになって、親とのコミュニケーションを楽しんでおられました。

京兼委員

ありがとうございます。

篠永委員

私は、図書館のリサイクルフェアについてですが、非常にいい事業だと思います。多分、毎年実施されてるんじゃないかなと思うんですけど、私も利用したことが一度あって、案外きれいな本もあつたりするんですけども、除籍した図書ということで、図書館での役目は終わりましたが、まだ使えそうというような定義だと思うんですけど、市民の方にお渡しする本の基準というのは、どんな考えなんでしょうか。何年か経ったものとか、あるいは物にもよるとは思うんですけど、かなり背中のところ崩れかけてるとか、余り崩れてるのをお渡ししてもどうかなとは思っているので、そのあたり、ど

ういう図書が対象になるのかなというのを、わかる範囲で教えていただけますか。

川上中央図書館長

まず、図書館の本の除籍の基準でございますけれども、やはり耐用年数、情報として非常に古くなって今の使用には耐えないもの、それから非常に傷んでご利用できないもの、これが除籍の対象になります。リサイクル図書は、この除籍したもののうち比較的再利用といいますか、読んでいただくことができるもの、プラス、寄贈いただいた本がございます。それにつきましては、図書館の蔵書冊数を満たしていれば、寄贈いただいた本を再活用ということでリサイクル本に再度出させていただくという活用を図りまして、それぞれ今回1年間、図書館で保管・保存をしていたもの、それから除籍したものを含めてリサイクル本として活用させていただきました。

武内委員

8月8日から10月8日までの、「見つかったキリシタン墓一千提寺遺跡群の調査成果一」ということで、展示品をたくさんの方が見に来られたようなんですが、その中で9月23日のシンポジウムっていうんですか、これは文化財資料館でされたと思うんですけど、すごくたくさん著名な方もお見えになっていて、いろいろなお話が聞けたのかなというふうに思いますが、当日先着80人ということで、この80人というのは少なかったのか、もっとたくさんの方が見えたのかどうかということと、前に聞かせてもらったかもわかりませんが、どんな反響があったんでしょうか。教えてください。

乾歴史文化財課長

定員の80人でございますけれども、実施場所の文化財資料館2階研修室に座れる概ねの人数が80人ということで、80人の定員を設けたところでございますけれども、実際当日に参加いただいたのは140人ということで、近年では最も多いご参加をいただきました。本市の中でもやはりキリシタンというのが非常に興味を持っていただいているということを改めて実感したところでございます。

武内委員

やはり大々的に宣伝といったら変ですけれども、アピールしていく一つのきっかけとして、これからもどんどんこのことをいろんな方に知っていただくためのことをやっていくのが、茨木の発展のためにも一つのきっかけとしていいんじゃないかなというふうに思いますので、計画するのはすごい大変だと思いますけれども、ぜひともそんなふうに進めていただけたらと思いますのでお願いします。

それと、もう一つ、すみません。全然違う件なんですけれども、この間の小学校連合運動会に行かせていただいて、その場で現場の先生とちょっとお話ししたりしてたんですけれども、スーパーストップウォッチという、ピストルを撃てば、コンピューターとつながっていて、記録を全部整理されてできるようなシステムになったと、そういうものを入れてもらって、最終的には人が押さないといけないけれども、でもそれが全部記録されていって、整理されていくというのは、人員削減の意味ですごくいいものを入れていただいたと、とても喜んでおられました。私が行かせてもらったのは東奈良小学校で、人数がすごく多かったので、100メートル走なんかをするときには、今までと随分違うっていうふうなことで、現場のほうは喜んでおられたので、お伝えしておきたいなというふうに思いました。ほかのところも入れていかれていると思うんですけれども、運動にも力を入れるということの一つとして、そういうことがつながっていったって、先生方が違った意味で力を入れる場所を見つけていけるということになっていくんじゃないかなというふうに思いましたので、結構予算はかかっているとは思いますが、よかったなというふうに思いました。

連合運動会で子どもたちの成績がどうだったのかなというのは、ちょっと耳にしていないんですけれど、もし何か成績が上がったとか何かありましたら、教えてください。

岡田教育長

議事の途中でございますが、委員会を傍聴したいという申し出がありますので、ここで入室していただきます。傍聴者を入室させてください。

(傍聴者入室)

加藤学校教育推進課長

個別の成績までは、資料等がないので把握できてないんですけれども、当日は、けがな

くといえますか、参加した子どもたち全員がしっかり自分の力を出し切った大会ができたということは聞いております。

岡田教育長

ほかに何かご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして諸般の報告を終わります。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしました。

平成30年第14回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

(15時33分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

平成30年11月27日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 _____

署 名 委 員 _____

平成30年第14回茨木市教育委員会定例会事務報告

平成30年9月29日～平成30年11月16日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
10月7日 (日)	秋の高校生ボランティアキャンプ (参加者：3人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育振興課
10月6日 (土) ～ 10月8日(月・祝)	秋のキャンプフェスティバル (参加者：353人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育振興課
8月8日 (水) ～ 10月8日(月・祝)	市制施行70周年記念 茨木市立キリシタン遺物史料館「見つかったキリシタン墓 - 千提寺遺跡群の調査成果 -」 (入館者数：1,146人)	キリシタン遺物史料館	関係職員	歴史文化財課
10月12日 (金)	子どもと保護者のための読み聞かせ講座 「おやこで絵本とあそぼう！」 (参加者：35人)	庄栄図書館	関係職員	中央図書館
10月13日 (土)	第39回やってみよう運動会 (参加者：204人)	南市民体育館	関係職員	学校教育推進課
10月13日 (土)	第2土曜科学教室 使い捨てカイロの秘密 (参加者：34人)	教育センター	関係職員	教育センター
10月14日 (日)	ジュニアリーダー研修会閉講式 (参加者：176人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
10月14日 (日)	トムソーヤキャンプ秋のつどい (参加者：72人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育振興課
10月17日 (水)	第71回小学校連合運動会 (参加者：2,756人)	郡小学校 東奈良小学校 庄栄小学校 彩都西小学校	教育長 京兼教育長職務代理者 片山委員 武内委員 関係職員	学校教育推進課
10月20日 (土)	子どもセミナー (まが玉ペンダントづくり) (参加者：①14人②20人)	①豊川いのち・愛・ゆめセンター ②沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	関係職員	社会教育振興課
10月14日 (日) 10月20日 (土)	子ども向け工作等行事 (開催回数：2回 参加者：延べ57人)	水尾図書館ほか	関係職員	中央図書館
10月21日 (日)	キャンプカウンセラー活動紹介キャンプ (参加者：103人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育振興課

平成30年第14回茨木市教育委員会定例会事務報告

平成30年9月29日～平成30年11月16日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
10月24日 (水)	こども会育成者研修会 「百人一首カルタ競技のルールと教え方」 (参加者：23人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
10月27日 (土)	青年による人権啓発事業 「SOGI～性的指向・性自認の多様性」 (参加者：34人)	男女共生センター ローズWAM	関係職員	社会教育振興課
10月28日 (日)	ミュージカル「オズの魔法使い」 (参加者：378人)	生涯学習センターきらめき	関係職員	中央図書館
10月27日 (土) 10月28日 (日)	第5回茨木市相馬芳枝科学賞 【表彰・展示・実験ブース】 (参加者：延べ1,067人)	クリエイトセンター 多目的ホール、セミナー301号室他	教育長 関係職員	教育センター
10月31日 (水)	第54回中学校連合音楽会 (鑑賞者：763人)	立命館いばらき フューチャープラザ	教育長 関係職員	学校教育推進課
11月3日 (土・祝)	朗読会「声で楽しむ本の世界」 (参加者：40人)	中央図書館	関係職員	中央図書館
11月4日 (日)	卒業キャンプカウンセラーを送るつどい (参加者：100人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
11月4日 (日)	講演会「手で触らずに魚をさばく?! - 総持寺と包丁式の世界 -」 (参加者：35人)	中央図書館	関係職員	中央図書館
11月6日 (火)	第70回小学校連合音楽会 (鑑賞者：2,987人)	立命館いばらき フューチャープラザ	教育長 関係職員	学校教育推進課
9月29日 (土) ～ 11月9日 (金)	映画会 (開催回数：11回 参加者：延べ579人)	中央図書館	関係職員	中央図書館
11月10日 (土)	市制施行70周年記念 第54回茨木市教育文化月間表彰式 (入場者：541人)	立命館いばらき フューチャープラザ グラウンドホール	市長 議長 教育長 京兼教育長職務代理者 片山委員 武内委員	教育政策課
11月10日 (土)	講演会「記者が見た富士正晴と山崎豊子 - 125通の書簡から -」 (参加者：62人)	中央図書館	関係職員	中央図書館

平成30年第14回茨木市教育委員会定例会事務報告

平成30年9月29日～平成30年11月16日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
11月9日（金） ～ 11月11日（日）	こどもの本交換会 （開催回数：3回 参加者：延べ 182人）	中央図書館	関係職員	中央図書館
11月4日（日） 11月11日（日）	リサイクルフェア （開催回数：4回 参加者：延べ 644人）	中条図書館ほか	関係職員	中央図書館
11月10日（土） ～ 11月12日（月）	第61回市立幼稚園・認定こども園・小学校・中学校総合展 （鑑賞者：6,569人）	市役所南館	教育長 関係職員	学校教育推進課
10月3日（水） ～ 11月16日（金）	おはなし会 （開催回数：63回 参加者：延べ2,757人）	中央図書館ほか	関係職員	中央図書館

その他の関連する報告事項

平成30年9月29日～平成30年11月16日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
11月10日（土）	市民フォーラム 「咳や痰が気になったら～あなたと大切な 人を守りたい！～」 (参加者：110人)	福祉文化会館	